さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

村づくり学ぶツアー開発

小菅 訪日客呼び込みへ

小菅村は、旅行会社と協力して、インバウンド（訪日客）向けに、村づくりについて学ぶツアーを開発する。過疎化対策や関係人口創出に関する村内の取り組みを紹介する内容で、台湾や韓国など、日本と同様に人口減少が進む地域をターゲットにするという。〈竹川元久〉



台湾からの視察団に説明する村職員（奥）＝小菅村内

関係人口創出の事業紹介

村源流振興課によると、昨年秋以降、台湾、韓国の青年実業家が村に視察に訪れたことがきっかけ。ドローンによる物資配送、村内の施設で利用できる「こすげ村人ポイントカード」、古民家を再生した宿泊施設としての活用など村内で行われている事業の説明や見学があり「人口減を前提に、住民生活を維持する関係人口の創出に主眼を置いた内容が好評だった」（担当者）という。

村には、村と包括連携協定を結ぶ旅行大手エイチ・アイ・エス（HIS）から派遣されている職員もいることから、訪日客向けのオプションツアーとして商品化を企画。現在、視察で紹介している内容に加え、農作業や清掃などを通じた村民との交流などを盛り込むことも検討している。村が運営する公営の塾で働いてきた山梨大生も協力し、来年1月をめどに内容を固め、来春に始める計画だ。

村は9月定例村議会に、事業費600万円を盛り込んだ一般会計補正予算案を提出し、可決された。担当者は「視察での台湾、韓国の人たちの関心の高さ、熱心さから需要があると判断した。村にとって有効なツアー商品となるようにしたい」としている。



竹川　元久
小林　諒一
鈴木なつ美
望月　優真

（2026 年 10 月 8 日付 山梨日日新聞 15 面）

問1

小菅村は、どのような人を対象にしたツアーを開発しますか。

問2

小菅村は、ツアー参加者に何を学んでもらうことを目的としていますか。

問3

小菅村で行われている事業を3つ答えてください。

・……　・……　・……

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2026 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.